

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスIMUA			
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～	2026年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2026年4月6日		～	2026年4月11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域資源や自然環境を活用した多様な体験活動を通して、子どもの主体性や社会性、生活力を育てる支援を行っている。	海や山、公園、公共施設、買い物、宿泊活動等、地域や自然環境を活用した活動を多く取り入れている。活動を通して、仲間との関わりや挑戦する経験、自己決定の機会を大切にしながら支援を行っている。また、子どもたちが安心して挑戦できる環境づくりを重視している。	活動内容だけでなく、その活動を通して育てたい力や支援意図についても、保護者へ分かりやすく共有できるよう工夫していく。
2	保護者との日常的な情報共有や相談支援を通して、家庭と連携した支援を行っている。	送迎時やLINE、面談等を通して、日頃から保護者との情報共有を行っている。学校や家庭での様子、困り感等について相談しやすい関係づくりを意識し、必要に応じて学校での会議にも参加している。	活動の様子や安全面に関する取組等について、より分かりやすく丁寧な情報発信を行い、保護者が安心して利用できる体制づくりを進めていく。
3	子どもの状態や安全面に配慮しながら、職員間で連携し柔軟に支援を行っている。	朝ミーティングや活動後の振り返りを行い、児童の状況や人間関係、活動内容等を共有している。また、天候や海況等も確認しながら安全面に配慮した活動内容や役割分担を検討している。避難訓練やアレルギー対応、送迎確認等についても職員間で共有を行っている。	ヒヤリハット事例や安全管理に関する情報共有方法を整理し、より安全で安定した支援体制づくりに努めていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の関係機関や協議会等との制度的な連携機会が少ない。	地域の児童発達支援センターが未設置であることや、日々の支援活動を優先する中で、協議会等への参加機会が限られている。	必要に応じて学校や関係機関との情報共有を継続するとともに、地域の研修会や協議会等への参加機会を増やし、連携体制の強化につなげていく。
2	安全計画や避難訓練等について、保護者への周知が十分に伝わっていない部分がある。	安全管理や避難訓練等は実施しているが、保護者へ説明・発信する機会が限られていた。	避難訓練や安全管理に関する取組内容について、LINEや活動報告等も活用しながら、保護者へ分かりやすく周知していく。
3	保護者同士の交流機会について、参加状況や感じ方に差が見られる。	送迎時や活動参加等を通して自然な交流の機会はあるが、家庭の状況や就労状況等により参加が難しい家庭もある。	各家庭の状況や保護者の負担感にも配慮しながら、無理なく参加・交流できる機会づくりについて工夫していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスIMUA	公表日		2026年5月27日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	活動内容や人数に応じて、室内外を活用しながら安全に活動できるよう工夫している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	活動内容や利用児童の特性に応じて役割分担を行い、職員間で連携しながら支援している。また、子どもたちが興味を持てる共通課題を絞り込んで活動内容を工夫している。	より個別対応が臨時的に必要な場合、あと1名配置できると、丁寧な対応が可能。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	活動内容に応じて環境設定を行い、見通しを持って活動できるよう声掛けや掲示等を工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		外部からの意見や保護者評価等を活用し、客観的な視点を取り入れた支援改善に努める。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	支援計画作成時には職員間で情報共有を行い、児童の状況や支援方針について共通理解を図っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	事業所の活動に沿った独自のアセスメントシートを活用している。	必要に応じて標準化された評価方法や客観的視点も取り入れながら、支援の質向上に努める。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	外出活動や地域資源を活用した活動、制作活動等を取り入れ、多様な体験活動ができるよう工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援開始前に、児童の状況や人間関係、当日までの様子を共有し、天候・気温・海況等も確認しながら、活動内容や遊び方、送迎等の役割分担について話し合いを行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動内容や過ごし方について本人が選択できる場面を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	必要に応じて、積極的に学校での会議に参加している。	学校以外の関係機関との連携についても、必要に応じて情報共有や連携体制づくりを進めていく。
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	3	1	保護者とも連携しながら、学校との情報共有や送迎時の確認等を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	計画相談員や保護者からの情報共有をしてもらい、理解に努めている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	本人の強みや獲得した能力等、次のステップに活かせる情報提供を行なえるように心がけている。	年度内、該当生徒なし。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	事業所内研修や外部研修を充実させ、支援の質の向上に努めている。	町内に児童発達支援センターが未設置であるため、今後設置された際には連携や研修機会の活用を進めていきたい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	月1回の割合で、地域プログラムに参加している。事業所内にとどまることなく、地域の外部資源を活用することを意識している。	
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3	地域の研修会に参加し、地域の支援状況や情報共有、学びを支援に活かしている。	日々の支援とのバランスを図りながら、地域の協議会等への参加について検討していく。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	お迎えの際に、事業所内の様子を共有し、保護者から家庭・学校の状況を教えてもらい、共通理解を深めている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	送迎時やLINE等で保護者と日頃の様子を共有しながら、こどもとの関わり方や観察のポイント等について助言を行っている。また、必要に応じて地域の研修情報等を提供している。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機微を設ける等の支援をしているか。	2	2	帰りのお迎え時に保護者同士が自然と顔をあわせたり交流できる環境づくりを行っている。また、子どもの発達、頑張り等を共有できるように、活動へ家族の参加を促している。	保護者同士が自然に関われる機会を大切にしながら、各家庭の状況に応じた交流のあり方について工夫していきたい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	普段から保護者との会話を大切にし、話しやすい雰囲気づくりをしている。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	LINEやメールで活動内容、予定を発信している。活動内容が理解しやすいように、画像等を活用している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	地域の公園や公共施設、地域イベント等を活用し、地域の中で様々な人や環境に触れる機会を設けている。	地域住民を招待する機会は少ないため、地域とのつながりを深められる活動について検討していく。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者から具体的な対応方法を確認し、アレルギーや緊急連絡先を職員間で共有している。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		ヒヤリハット事例の共有方法を整理し、再発防止や安全意識向上につなげる。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		